



歯周病と喫煙のかかわり

< 喫煙が歯周病を悪化させる >

喫煙習慣は、自分だけでなく他人の健康を害する可能性があり、さまざまな全身疾患の発症や進み具合と関連があります。例えば、喫煙と関係があるとされている口腔疾患には、**歯肉ガン・舌ガン・頬粘膜ガン・歯周病** があります。しかし、喫煙が歯科の疾患とも関連があることは、意外と知られていないようです。

今回は**歯周病（歯槽膿漏）**との関連について考えてみます。

< 喫煙はお口の中でどのような現象を引き起こすのか？ >

喫煙は・・・



歯に汚れをつけやすくする。
歯周病にかかる確率を高める。
歯周病をより進行させる。
治療した部位の治り方を遅らせる。

< 喫煙者の口の中 >



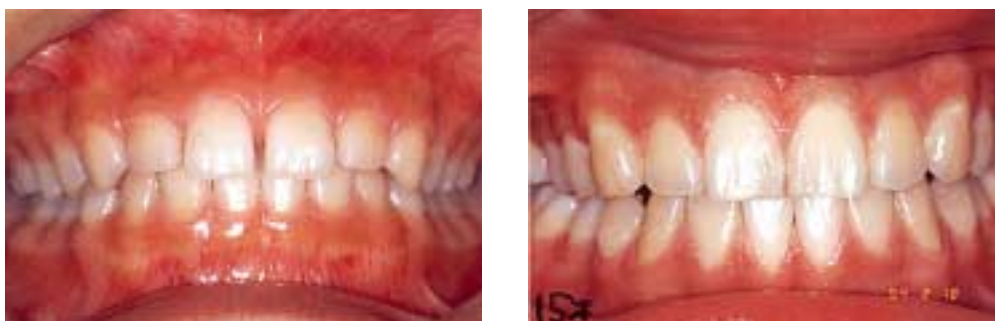
『デンタルハイジーン 8月号』 医歯薬出版株式会社

歯の表や裏にこげ茶色のヤニ（タール）が付着しています。また歯肉も少し茶色くなっています。

< 喫煙が歯周病を悪化させる原因は・・・ >

タバコの中に含まれている「ニコチン」という成分がお口の中の粘膜や歯ぐきに吸収されると毛細血管を収縮させ、血液循環を悪くします。それによって免疫抵抗力が低下し、歯周病にかかりやすくなったり、悪化させたりするのです。

タバコを吸わない健康な人の口の中



『デンタルハイジーン 8月号』
医歯薬出版株式会社



30年間タバコを吸っていた人の口の中



『デンタルハイジーン 8月号』
医歯薬出版株式会社



喫煙者は治療を受けても、それに対する反応が良好でないとの報告もあるので、歯周病の治療を受けていただく際には、禁煙をしていただくのが理想です。

鈴木歯科